

船舶事故等調査報告書

平成23年11月24日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010横第242号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成22年10月1日 14時00分ごろ	
発生場所	静岡県下田市 ^{みこもと} 神子元島江ノ口湾 神子元島灯台から真方位180°70m付近 (概位 北緯34°34.5′ 東経138°56.5′)	
事故等調査の経過	平成22年12月10日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 漁船 ブラックエンゼルいそじ、19トン</p> <p>船舶番号、船舶所有者等 292-46079静岡、三軒屋海運有限公司</p> <p>乗組員等に関する情報 船長、一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定</p> <p>死傷者等 なし</p> <p>損傷 右舷舵損傷及びプロペラ3個（各3枚翼）曲損</p>	
事故等の経過	<p>本船は、船長ほか1人が乗り組み、神子元島江ノ口湾内においてえび網漁の操業中、操舵装置が故障し、北東風に流され始めたため、船長が機関を始動させて乗揚を回避しようとしたものの舵が効かず、平成22年10月1日14時00分ごろ江ノ口湾西岸の岩場へ乗り揚げた。</p> <p>本船は、他船にえい航されて静岡県南伊豆町手石港へ帰港した。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 曇り、風向 北東、風速 約6m/s、視界 良好</p> <p>海象：波高 平穏、潮汐 下げ潮の中央期</p>	
その他の事項	<p>本船は、プロペラ軸3本、プロペラ3個及び舵2枚を装備していた。</p> <p>本船は、油圧式操舵装置の油圧配管が外れ、油漏れして油圧が上がらず、舵が効かなくなった。</p> <p>本船は、発航前に操舵装置の点検を行っていなかった。</p> <p>江ノ口湾内は狭く、操業場所から座礁地点までの距離は、約10mであった。</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>あり</p> <p>なし</p> <p>本船は、神子元島江ノ口湾内において操業中、油圧式操舵装置が故障したことから、北東風に流されて江ノ口湾西岸の岩場へ乗り揚げたものと考えられる。</p> <p>本船は、油圧式操舵装置の油圧配管が外れ、油漏れをして油圧が上がらず、舵が効かなくなったものと考えられる。</p>
原因	<p>本事故は、本船が、神子元島江ノ口湾内で操業中、油圧操舵装置が故障したため、北東風に流されて江ノ口湾西岸の岩場へ乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。</p>	